

Lesson 4

全6時間 / 6・7月 / 教科書 pp.26-31, p.89

Can you do this? プロフィールカードを作ろう。

1 単元目標

- 自分や家族の「できること、できないこと」の言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴や違いに気づく。
- 自分の「できること、できないこと」を発表することができる。
- 他者に配慮しながら、自分の「できること、できないこと」を発表しようとする。

2 言語材料

- Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
- I can ~. I can't ~. he / she
- 動作 (fly, jump, run, sing, swim, walk, jump rope, read a book, play badminton, play soccer, play the piano, play the recorder)
- 動物 (ant, butterfly, penguin, crocodile, dolphin, bear, rabbit, cat, dog, elephant, frog, kangaroo)
- a ~ z の活字体の小文字

【既出】 I like ~ . **L1**

3 単元観

ちょっとした得意技ができるかできないか、動物がその動作ができるかできないかを考える活動を導入で行うことで、canの表現を意欲的に理解させることができる。また、天気と関連させてできる遊びを考えるなどをし、個人の能力にあまり重きを置かずにcanを理解し、やり取りすることに慣れさせる。そして、自分の好きなことを交えて、自分のできることをプロフィールカードに絵で描くことによって、無理なくcanを使って発表することに取り組むことができる。

文字ページでは、前の単元で取り扱ったアルファベットの活字体の小文字について、特に4線上のどの位置に配置するかを焦点を当てて、より正確な形を意識させる。

4 領域別目標と学習指導要領との関連

聞くこと	動作などの表現や、友だちや先生の「できること、できないこと」についての話を聞いて、理解することができる。	ウ
読むこと	文字には「音読み」があることを理解し、活字体の小文字を識別したり、「名称読み」で発音したりすることができる。	ア
話すこと (やり取り)	「できること、できないこと」について、伝え合うことができる。	イ
話すこと (発表)	「できること、できないこと」を発表することができる。	イ
書くこと	活字体の小文字を、高さや形の違いに気をつけて書くことができる。	イ

時	目標と主な活動	評価の観点
1	<p>◆canを使用する場面を聞いて、英語で「できること、できないこと」を表現する言い方を理解する。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新道先生とブラウン先生ができることは何かを聞く。 ・can, can'tの表現を理解する。 <p>【Let's Play 1】 pp.26-27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の名前を知り、ポインティング・ゲームをする。 ・動作の言い方を知り、サイモンセズをする。 	<p>「できること、できないこと」を表現する言い方を理解しようとしているか、次時と合わせて評価する。</p>
2	<p>◆動作を表す表現を、「できること、できないこと」の表現とつなげて理解する。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物が「できること、できないこと」を聞く。 ・3つのヒントを聞いて、どの動物かを考える。 	<p>「できること、できないこと」の表現を聞いて、理解することができる。〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 [主]</p> <p>聞くことウ</p>
3	<p>◆can, can'tを使って「できること、できないこと」を表現することができる。</p> <p>【Let's Play 2】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作を表す表現を増やしてサイモンセズをし、動作の表現に慣れ親しむ。 <p>【Let's Play 3】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことについて、canを使って3つのヒントを作る。そのうち1つは本当でないことにして、お互いにCan you ~?を使って本当でないことを当て、can, can'tの表現に慣れ親しむ。 <p>【Let's Play 4】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人のグループになって、動物などの「できること、できないこと」を3つ考える。 ・スリーヒント・クイズとし、お互いにクイズを出し合って、can, can'tの表現に慣れ親しむ。 	<p>「できること、できないこと」を伝え合うことができる。〈行動観察〉</p> <p>思・判・表 [主]</p> <p>話すこと(やり取り)イ</p> <p>動物などの「できること、できないこと」を伝え合うことができる。〈行動観察〉 思・判・表 [主]</p> <p>話すこと(やり取り)イ</p>
4	<p>◆家族の言い方やhe, sheについて知り、家族の「できること、できないこと」について話し合う。</p> <p>【Let's Listen 3】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の言い方、he, sheの言い方とともに、can, can'tについて理解を深める。 <p>【Let's Listen 4】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気話題にして、家族の言い方、he, sheの言い方とともに、can, can'tについて理解を深める。 	<p>家族やhe, sheの言い方、家族の「できること、できないこと」について聞いて、理解することができる。〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 [主]</p> <p>聞くことウ</p> <p>天気による「できること、できないこと」についての表現を聞いて、理解することができる。〈書き込み点検〉 思・判・表 [主]</p> <p>聞くことウ</p>
5	<p>◆プロフィールカード作りを通して、自分の「できること」を発表する。</p> <p>【Let's Try】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・likeを交え、canを使って自分ができることを、合わせて3つ考える。 ・プロフィールカードを作り、自分ができることについて発表する。 	<p>自分の好きなことやできることについて、発表することができる。〈行動観察・書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 [主]</p> <p>話すこと(発表)イ</p>

6 ◆活字体の小文字について、特に形(高さ)の違いに注意して正しく書くことができる。

【 Let's Sing 】 p.89

・Jingle 1を歌う。

[1] p.89

・黒い形の中に入る小文字を探す。

[2] p.89

・文字の高さに気をつけて小文字を書く。

[3] p.89

・文字の形の違いに気をつけて小文字を書く。

小文字の形に気をつけて、発音したり書いたりすることができる。〈書き込み点検〉 思・判・表 主

書くことイ

読むことア

文字の高さの違いを理解し、それぞれの高さに合った小文字を選んで書くことができる。〈書き込み点検〉 知・技 主

書くことイ

文字の高さと形に気をつけて、小文字を書くことができる。〈書き込み点検〉 知・技 主

書くことイ

6 各活動の評価規準項目一覧

	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	LL2・3・4	LL2・3・4	LL2・3・4
読むこと	文字1	文字1	文字1
話すこと(やり取り)	LP3・4	LP3・4	LP3・4
話すこと(発表)	LT	LT	LT
書くこと	文字1・2・3		文字2・3